

ベテラン先輩職員からのメッセージ

平成8年度採用
情報管理課配属
徳永智弘 調査官



私は、民間企業（ソフトウェア開発会社）を経て、平成8年4月に和歌山県警察に情報職として採用され、情報管理課に配属されました。情報管理課は、和歌山県警察におけるICT分野を担う部門で、日々警察業務を支援しています。

これまで、警察庁や他の都道府県警察とも接続される情報インフラの整備や職員が警察業務で利用する情報システムの整備に携わってきました。社会全体にデジタル化の波が押し寄せ、とりわけ2020年以降は新型コロナウイルス感染拡大により社会が変容する中、デジタル化への課題が浮き彫りになりましたが、警察を取り巻く情勢も大きく変化しています。運転免許関係手続をはじめとする行政手続や刑事手続等について全国的なデジタル化への取組が加速し、最近ではデジタル化の対応に取り組むことが多くなっています。

情報管理課では、様々な知識や技術が必要になりますが、先輩職員の下で実務を通じた研修はもちろん、部外研修、近畿管区警察学校や警察大学校附属警察情報通信学校への入校によるスキルアップの機会が多くあります。中には、ICTの経験がないながらも、これらスキルアップの機会をいかし、一線級で活躍している職員もいます。

和歌山県警察は、AIなど先端技術を用いたシステムや先進的な情報システムを多数整備しています。今後もICTは警察業務のあらゆる分野で活用され、ますます高度化していきます。私たちの職場は、皆さんのICTに関する知識や経験、技術、情熱をいかすことができる職場です。

若手先輩職員からのメッセージ

平成28年度採用
情報管理課配属
山田和彦 技師



私は、平成28年4月に民間企業から転職しました。和歌山県警察内のネットワークの運用管理を行う係を経て、現在、メインフレームと呼ばれる汎用電子計算機という特殊なコンピュータを用いて、県民の皆様が保有する運転免許の管理に関するシステムの運用管理を行っています。

仕事の内容は、プログラムの作成やメインフレーム及びサーバの管理、ネットワークの管理等多岐に渡り、業務の規模が大きいため覚えることが多く苦勞することもあります。

新しい技術に触れる機会も多く、とてもやりがいのある仕事です。運転免許の管理に関するシステムは、令和元年の「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」において刷新することが決定され、現在は、その準備に取りかかっています。

私は、採用前、情報システムに関する実務経験があまりなく、特にメインフレームに関する知識や経験が皆無でしたが、採用後、自己研鑽に励み、また、職場の先輩からの研修や部外の研修を受けることで技術を身に付けることができました。

情報管理課は、ドラマで取り上げられるような派手な所属ではありませんが、警察活動を支えるためになくはない所属です。あなたのスキルをいかし、和歌山県の安全、安心を共に支えませんか。

若手先輩職員からのメッセージ

令和2年度採用
情報管理課配属
木田智彦 技師



私が勤務する情報管理課は、和歌山県警察内の情報セキュリティ対策やネットワーク、サーバ及び端末等の情報インフラの整備、情報システム開発等を行っている所属です。

私は、民間企業（情報インフラ整備関係）を経て、令和2年4月に和歌山県警察に情報職として採用されました。現在、私は、警察本部と県下全ての警察署及び交番等を結ぶネットワークや約2,500人の警察職員が利用する端末及びサーバの整備・運用管理、職員からの問い合わせ対応を担当しています。

職員からの問い合わせは、システム的なことだけでなく、端末や周辺機器の一般的な使い方も含まれ、回答するために幅広い知識が必要となりますが、問い合わせ一つをとっても、最前線で活動する警察職員の業務に遅延が生じないように、適切かつ迅速な対応を心掛けています。また、デスクワークだけでなく、現場に出向いて端末の設置やケーブルの配線作業をすることもあり、技術的な知識はもちろんのこと、現場調整力や時には体力も求められる仕事です。

私が担当する情報インフラは、各種警察活動に不可欠なものであり、それを安定的に運用していくことに大きな責任を感じますが、この仕事を通じて警察組織全体の業務の効率化に貢献していることから、非常にやりがいを感じています。

若手先輩職員からのメッセージ

令和3年度採用
情報管理課配属
山本隼士 技師



私は、民間企業（システム開発関連）を経て、令和3年4月に和歌山県警察に情報職として採用され、現在は、職員が警察業務で利用する情報システムに関連した業務に携わっています。具体的には、情報システムの開発・運用・保守やサーバ機器の監視・メンテナンス、ヘルプデスク等の業務を行っています。

和歌山県警察で運用している情報システムの中には、当課の職員がシステム設計から実装までを手掛けた情報システムが多くあり、私は、主にシステムの改善要望への対応や制度等の変更により生じる改修作業に取り組んでいます。

また、情報システムの運用・保守も重要な仕事で、サーバ機器の点検やログの確認、バックアップ等を日々確実にを行うことにより、警察業務に支障が生じることのないように努めています。ヘルプデスクは、質問の内容が多岐に渡り、知識や経験を積まないと難しいこともあります。これも困っている職員を助けるという大切な仕事です。

私たちの仕事は、警察活動を後方から支援する仕事です。私は、県民の皆様の安全・安心に貢献することができるこの仕事に、やりがいと責任を感じています。